

2023年度ICT利用による教育改善研究発表会
受賞者決定

1. 本発表会の趣旨

本発表会は、全国の国公私立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT活用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上をはかることを目的としています。優れた発表に対しては、文部科学大臣賞（最優秀賞）、私立大学情報教育協会賞（優秀賞）、奨励賞を授与し、その教育業績を顕彰するとともに、本協会ホームページに掲載、公開しています。本発表会は今年度で31回目となり、これまでに文部科学大臣賞5件、私立大学教育協会賞33件、奨励賞54件、佳作4点を顕彰してきました。なお、本発表会では毎年度、文部科学省の後援と文部科学大臣賞の交付が認められています。

2. 選考方法および結果

2023年度のICT利用による教育改善研究発表会は、オンラインによる発表会を開催し、発表者全員に発表映像の提出を事前に求め、8月25日に会場から46件の研究発表を配信するとともに、質疑は各発表者からオンラインで実施しました。発表会終了後、1次選考を行い、2次選考の対象8件を選考しました。発表会の視聴参加者は、発表者を除き125名（56大学・短期大学、賛助会員4社）でした。その後、9月23日に2次選考を行い、1次選考の発表収録ビデオ及び発表会論文を精査して、「私立大学情報教育協会賞（優秀賞）」1件の授賞を決定しました。表彰式は、11月30日（木）に本協会の第38回臨時総会の冒頭に行い、文部科学省専門教育課の森企画官による来賓挨拶、本協会の角田担当理事による発表会の概要説明と本年度結果報告の後、向殿会長から私立大学情報教育協会賞（優秀賞）の表彰楯の授与を行いました。受賞者は次の通りです。

2023年度ICT利用による教育改善研究発表会 受賞者



右から文部科学省専門教育課 森企画官、
受賞者代表の北海道医療大学二瓶氏、本協会向殿会長



二瓶裕之氏 中山章氏 木村治氏 西牧可織氏



文部科学省 森企画官



本協会 向殿会長

私立大学情報教育協会賞

■ 「生成系AIと共生した文章表現基盤教育の実践：次世代医療人育成を目指して」

北海道医療大学 二瓶裕之氏、中山章氏、木村治氏、西牧可織氏

<授賞理由>

本発表は、生成系AIを組み込んで開発した統合型知的学修支援システムを活用して、薬学部初年次の文章指導教育においてグループディスカッション、レポートや文章添削に教育効果の向上を認めた報告である。生成系AIに教員を演じさせる、学生を演じさせる、相談役を演じさせることで、学生自身が生成系AIの信頼性や人間による判断の大切さを体験・検証しながら、批判的観点を持つことの重要性を醸成する文章表現基盤教育を実践した。

近年注目を集めている大規模言語モデルに基づいた生成系AIへの教育分野での活用について、本発表は開発したAPI（Application Programming Interface）の一般公開によって、他の教育分野における生成系AIの活用にも広く道を拓くことが期待できることから、私立大学情報教育協会賞を授与するに相応しいものと考えられる。